

東京都社会福祉協議会 ボランティア保険における 新型コロナウイルスの取扱いの改定について

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ボランティアの皆さまの活動にも大きな影響が生じていることと存じますが、この度、ボランティア保険の特定感染症に指定感染症(新型コロナウイルス)を追加し、補償の対象としましたので、ご案内いたします。(2020年2月1日に遡って補償します。)

ケガの補償《抜粋》

ボランティア活動中にボランティア自身が特定感染症に罹患した場合に補償します。

- ①葬祭費用実額(300万円限度)
②後遺障害保険金 ③入院保険金 ④通院保険金

補償区分	Aプラン	Bプラン	Cプラン
葬祭費用	300万円限度	300万円限度	300万円限度
後遺障害	1,050万円限度	2,200万円限度	3,000万円限度
入院日額	7,000円	10,000円	15,000円
通院日額	3,000円	5,000円	7,000円

※天災コースに加入している場合は天災コースのプランに準じます。

※特定感染症:感染症予防法(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)による分類

一類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘瘡(天然痘)、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱
二類感染症	急性灰白髄炎(ポリオ)、結核、ジフテリア、SARS、鳥インフルエンザ(H5M1)、MERS
三類感染症	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症(O-157など)、腸チフス、パラチフス

※新型インフルエンザは補償されません。(感染症予防法で「新型インフルエンザ等感染症」に分類)

よくあるご質問

Q1:ホテルでの隔離や自宅での療養の場合は補償される?
A1:新型コロナウイルスに感染し、医師の指示のもと軽症や無症状の方等がホテル等の臨時施設または自宅で療養する場合は「入院」とみなし保険金をお支払いします。

Q2:新型コロナウイルス感染がボランティア活動中かどうかの判断は
どうするの?
A2:ボランティア活動中に感染したかどうか(ボランティア活動の実態、院内感染・クラスター等の他の感染要因の有無など)や、発病が保険期間中かどうかなどを確認させていただいたうえで、引受保険会社が判断します。

※このチラシは新型コロナウイルス感染症の取扱いに関するご説明です。その他の補償内容につきましては、パンフレット「ボランティア保険のご案内」をご参照ください。

<取扱代理店>
有限会社東京福祉企画
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂1-2 研究者英語センタービル3F
TEL 03-3268-0910

<引受保険会社>
三井住友海上 公務第一部 東京公務室
〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台1-11-1
TEL 03-3259-7593

MS&AD

三井住友海上

B20-100827 使用期限:2021.3.31